

ごみ減量化の努力が足りないのでは

平成22年度までに20%削減を目指す



エンジェル 千代子 議員

質問 灰溶融炉町民説明会をどう受け止め、町民の意見をどのように生かすのか。

答弁 近隣市町村住民より要望もあり、自由参加としましたが、結果は町民がその半数に満たなかった。

施設建設に懸念を抱いた質問や意見が多くありました。

町民の皆さんにどういうものができて、どういう影響があるかを知ってほしかったので、その点では町民の考えが多く聞けなかったことは残念に思いました。関係の区長から説明開催の要望もあるので、応えていきたい。資源の循環型社会の構築に向けて、ごみの減量化は急務であると考え、

3市町村で長期的かつ総合的な事業を行うため、一般廃棄物処理基本計画を平成17年3月に策定、ごみの減量化の数値目標として、平成22年度までに平成12年度対比で20%削減を目指します。

また、ごみの減量推進会議(仮称)を6月中に立ち上げるよう準備中で、委員の公募をしています。

○その他の質問事項
・首長の退職金
・パノラマスキー場の実績と支援

について



風力発電が計画されている入笠山

風力発電に対する規制は

環境保全条例で対応可能



小林 光 議員

質問 入笠山に計画されている風力発電について、規制する条例を作る考えは。

○その他の質問事項
・渡辺別荘跡地
・町のエネルギービジョン

について

答弁 代替エネルギーとしては評価するが、建設までの資源利用等を併せて評価しないといけない。また、希少動植物への影響も心配されます。

風力発電用の構築物は、高さの面で現状の環境保全条例で十分対応が可能であり、新たな規制条例を作る考えはありません。